

第28回 DAAS運営委員会

□日 時： 2014年9月30日(火) 15:00～16:30(予定)

□場 所： 公財)建築技術教育普及センター内第5会議室

〒120-0097 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル3階

Tel: 050-3786-0568 (DAAS事務局)

議 案:

[承認事項]

DAAS第9期総会資料及び第4回理事会資料

□ 資 料

DAAS第9期総会

第4回理事会資料

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第9期(2014-2015年)総会

開催日時	2014年10月23日(木) 午前10:00~午前11:30
開催場所	都道府県会館 4階 410会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第9期(2014-2015年)総会次第

開催日時:2014年10月23日(木) 午前10:00～午前11:30

開催場所:都道府県会館 4階 410会議室

1 開会挨拶

芦原 太郎 建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 理事長代行

2 来賓挨拶

木下一也 国土交通省 住宅局 建築指導課 課長

3 議 事

議案1 第8期(2013-2014年)事業報告(案)及び収支決算(案)について

資料1 第8期(2013-2014年)事業報告(案)

資料2 第8期(2013-2014年)収支決算(案)

監査報告

資料3 監査報告書

議案2 第9期(2014-2015年)事業計画(案)及び収支予算(案)について

資料4 第9期(2014-2015年)事業計画(案)

資料5 第9期(2014-2015年)収支予算(案)

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第9期・第10期 理事・監事名簿(案)

議案4 会費規程変更の件

資料7 会費等規程(案)

4 報 告

資料7 会員名簿変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

5 閉 会

議案1 第8期(2013-2014年)事業報告(案)
及び収支決算(案)について

資料1 第8期(2013-2014年)事業報告(案)

資料2 第8期(2013-2014年)収支決算(案)

監査報告

資料3 監査報告書

第 8 期 (2013-2014 年) 事業報告 (案)

1. 概要

DAAS の基本活動である「Web サイト等基本システムの維持・保全」「収蔵データの維持・保全」の継続をしつつも、事業計画に基づき、以前からの課題である「運営基盤の安定化」を最優先事項として、運営委員会のもとに「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」を設置し、集中討議した。この結果、運営基盤の安定化方策に関する一定の結果を得るに至り、結果は報告書としてとりまとめた。

なお、運営基盤の安定化検討と並行して、今期のうちに事務局を公益財団法人 建築技術教育普及センター（以下、「普及センター」）内に移転し、事務所経費等の軽減を図る事が決定した。今後一層の運営基盤安定化に向けた検討体制の確立と DAAS 活動の継続・拡大、及び連携等を次期課題として検討する。また、第 8 期からの継続事業は、第 9 期での実施を目指すこととする。

2. 事業実施状況

(1) コンテンツの整備

① 動画収録、デジタルデータ作成

第 7 期からの継続事業として、コンテンツ作成支援金 (国庫補助) による動画制作 4 本、VR (ヴァーチャルリアリティ) を利用した空間画像データ製作 3 本を実施した。

動画制作においては、今後のアーカイブ活動連携のきっかけとなるよう、アーカイブ活動に従事する人々のインタビューを収録。「一般社団法人日本建築学会 建築博物館委員会幹事 (資料担当) 藤岡 洋保氏」「首都大学東京情報アーキテクト 渡邊英徳氏」「総合芸術アーカイブセンターセンター長・東京藝術大学美術学部彫刻科教授 北郷悟氏」「文化庁 国立近現代建築資料館 (運営委員長)、建築・空間デジタルアーカイブス (理事長) 鈴木博之氏」であるが、鈴木博之氏については、以前収録したものの編集作業のみとなった。期限内に動画収録の成果を得て、支援金の報告としてデータを提出したが、DAAS-Web サイト公開にむけた質的向上を目的とし、再編集作業を行っている。当該作業が完了次第、DAAS-Web サイトでの公開を予定している。

VR データ収録については、既に取り壊された建物、今後失われる可能性がある風景等の収録を目的として「旧 東急東横線渋谷駅」「国立屋内総合競技場 (代々木体育館) 周辺風景」「明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前風景」を収録し DAAS-Web サイトに成果物を掲載するに至った。コンテンツ詳細は別添 1 資料を参照。

新規コンテンツ掲載にあたり DAAS-Web サイトの改善も行った。(詳細は後掲する)

② オープンアライアンス活動

オープンアライアンスとは、デジタルアーカイブスの必要性、重要性などについて、同じ目的を持つ異なる複数の企業・団体の集合体であり、かつ、それがオープンな状態であることを意味する。DAAS としては、アーカイブス活動実施機関等とのつながりを持

つべく、これまでも意見交換等を実施してきた。今期は、以下にかかる動画撮影時において意見交換を実施した。

- ・ 一般社団法人日本建築学会 建築博物館委員会幹事 藤岡 洋保氏
- ・ 首都大学東京情報アーキテクト 渡邊英徳氏
- ・ 総合芸術アーカイブセンターセンター長・東京藝術大学美術学部彫刻科教授 北郷悟氏

③ モバイルサイト

スマートフォン向けの音声再生専用アプリケーションのテストプログラムを、関係者協力のもと、無償で構築した。なお、対応する音声コンテンツ制作に期間と予算化を要したため公開には至らなかったが、今後は、コストメリット、予算等を考慮のうえ継続検討とする。

④ その他

以下、コンテンツを収録し、DAAS-Web サイトに掲載。

- ・ 震災復興支援プロジェクト「A Book for Our Future,311」”The Book” 電子書籍版(宮城大学)
- ・ 迎賓館天井絵画修復 業務報告書 概要版（国土交通省 大臣官房官庁営繕部）

資料掲載にあたり、ダウンロード等資料の不正流用に対する完全なセキュリティ対策、様々な OS に(コンピューター、スマートフォン、iOS など)対応するソフトウェアを検討したが、万全な対策には至らず、PDF 形式での掲載となった。

(2) Web サイトの改善

新規コンテンツ収蔵に必要な改修を行った。

- ・ サーバーハードウェアの最新環境への移行
- ・ 動画コンテンツ拡充の為のサムネイル画像表示機能の追加
- ・ Web サイトのサイドメニューの改善

(3) 基本システムの運営・管理

サーバ攻撃に対するセキュリティ対策を実施。具体的には、サーバ及び周辺アプリケーションをセキュリティ対策が済んだ最新版に更新した。

(4) 運営委基盤安定化にむけた検討

第 8 期事業計画に基づき、「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」を設置し集中討議を行った。安定化対策について、一定の結果を得るに至り、報告書にまとめた。

来期より公益財団法人建築技術教育普及センター内に事務所を移転し一定の経費削減を図る事ができるが、一層の基盤安定化に向けての今後も必要な WG を設置し、

検討を行う。報告書抜粋は別添を参照。

(5) その他

① 有償利用について

データの有償利用については、以下17点の申し込みを受けた。

香川県様 丹下健三 伝統と創造 展示及び図録追加 2点(坂出人工土地等)

公益財団法人ギャラリーエークワッド様 展示・図録利用 1点(浜田山の家)

株式会社アダック様 UC/セゾンカード会誌 掲載 1点(出雲大社の舎)

株式会社彰国社様 雑誌デティール 掲載 1点(続私の家)

株式会社日建設計様 社史 HP 掲載及び冊子掲載 2点(中野サンプラザ)

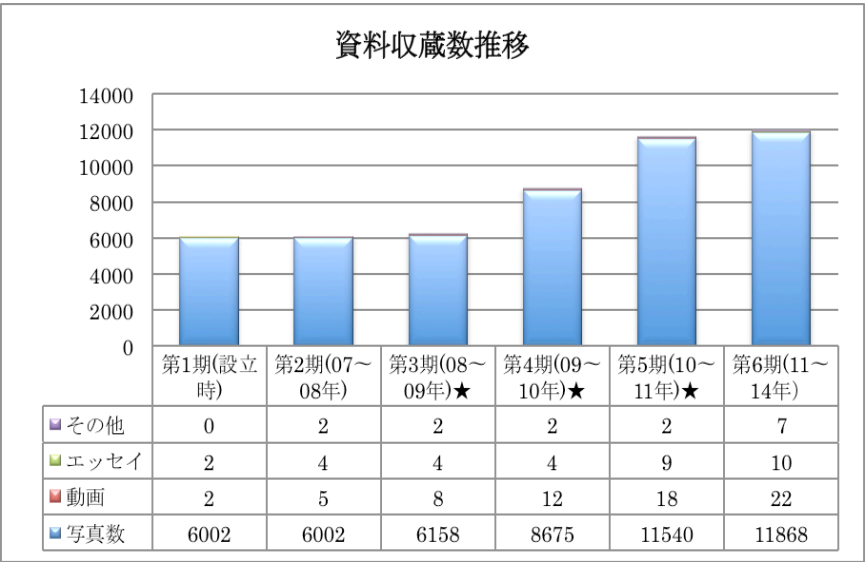
山梨文化会館様 展示 3点(山梨文化会館及び香川県庁舎)

埼玉県立美術館(新建築社様からの依頼として) 戦後日本住宅伝説 展示 7点

② 設立から第8期までの DAAS の活動と登録者、閲覧者数の推移を報告する。

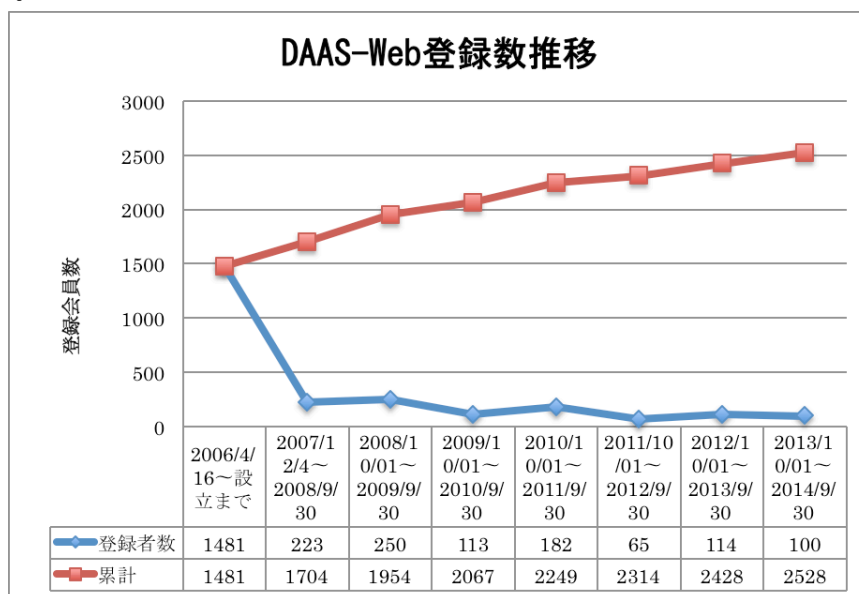
・資料収蔵数推移(累計)

第3期～第5期はUIA 世界大会に向けた資料収蔵の補助金により大きな資料収蔵の伸びがあった。第6期以降は同事業の残務や JIA 環境建築賞、日事連賞など、団体会員の協力による収蔵数増加。



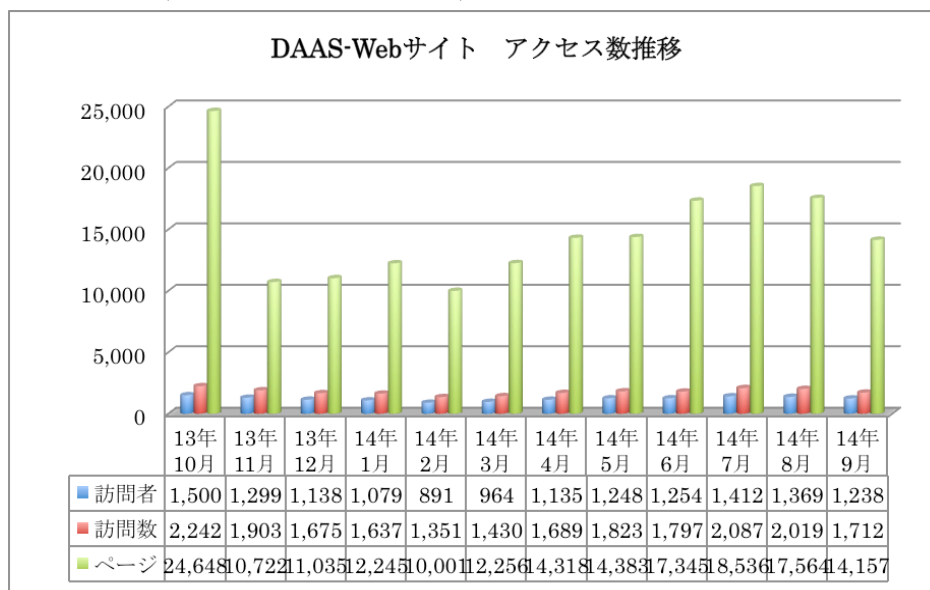
・登録者数推移(累計)

2011 年のサーバダウン等を除き、登録者数は平均して伸びている。登録者は、学生、建築関連企業、その他、展示会等での利用を目的とした映像資料、写真資料の閲覧者など。



・Web サイトアクセス数推移(累計)

レンタルサーバー移行後、2013 年 6 月よりアクセス数の統計サイトを新規設定。訪問者数に対し訪問数は延べ数(同一 IP からのアクセス数)である。第8期のみの累計としては、訪問者数 14,527 人、延べ訪問数 21,365 人である。



【業務の目的】

コンテンツ制作の支援を受け、近年様々な動きがある「建築アーカイブ活動」の状況と、その活動に携わる方々の生の声や思いを収録し、資料保全活動への理解を深める動画コンテンツを制作する。また、失われた景観や今後変容すると予想される景観を「VR(バーチャルリアリティー)を使い、空間画像データとして収録・Web 掲載用のデータ制作を行う。以上の成果物を DAAS-Web サイト(<https://www.daas.jp>)へ掲載にする為、Web 改修作業も併せて行う。

各コンテンツ制作は、貴重な建築や街並みに対する保全の意識を高める事業、良好なまちづくりに向けた普及・啓蒙事業として行うものであり、併せて、資料収集・保全するアーカイブス活動への理解と、その必要性に対する認識の向上を目的としている。

【制作コンテンツ概要】**1 インタビューコンテンツ(オーラルアーカイブ)制作**

建築の研究者、歴史家等でアーカイブ活動に関わる方々の思いやその活動概要について、動画コンテンツとして収録。収録した動画は、より広く人々に知って頂くために、理解しやすい解説等を加えるなどの編集を行い DAAS-Web サイトにて公開する。ビデオの収録・編集に於いては、学生の実務経験の場の提供のため、大学と連携しながら進める。

2 VR(バーチャルリアリティー)を使った空間画像データの制作

取り壊される可能性、もしくは予定のある建物や、今後変容する可能性があるまちなみの画像情報をVR データとして記録する。また、収録したデータは DAAS-WEB サイト上で空間認識ができる記録コンテンツとして公開出来るよう編集する。

制作実施に於いては、これまで建築物及びまちなみの記録をVR データとして収録している建築家、撮影者の協力のもと収録をすすめる。

3 コンテンツ制作物の掲載に係る作業

本作業での成果物である各コンテンツの掲載に必要な Web 機能の改善を行い、DAAS-Web サイト(<https://www.daas.jp>)で閲覧を可能にする。改修内容としては Web サーバハードウェアの変更、及び、動画ファイル サムネイル表示機能追加を行う。

1 インタビューコンテンツ(オーラルアーカイブ)制作」

1.1 コンテンツの閲覧対象者

建築に興味をもちサイトを検索する不特定多数の人々、建物の設計者、施主、施工者、写真家、学生、DAAS の会員企業・会員団体などの閲覧者に向けた内容として制作する。

1.2 動画概要

インタビューを収録。説明のナレーション、及び画像資料、テキスト表示などを含め全体を20分程度に編集。WEB サイトでの公開を行う。(DAAS-Web 会員登録が必要(無料))

1.3 収録方法

事前打合せを行い、撮影自体は半日、インタビューは約2～3時間程度。原則インタビューは DAAS にて指定。可能であればアーカイブ活動の現場撮影を行う。機材、音声、人員については、充実した先進のファシリティを整備し、企業も編集施設の利用を要請することで有名な、関東学院大学の協力により実施。

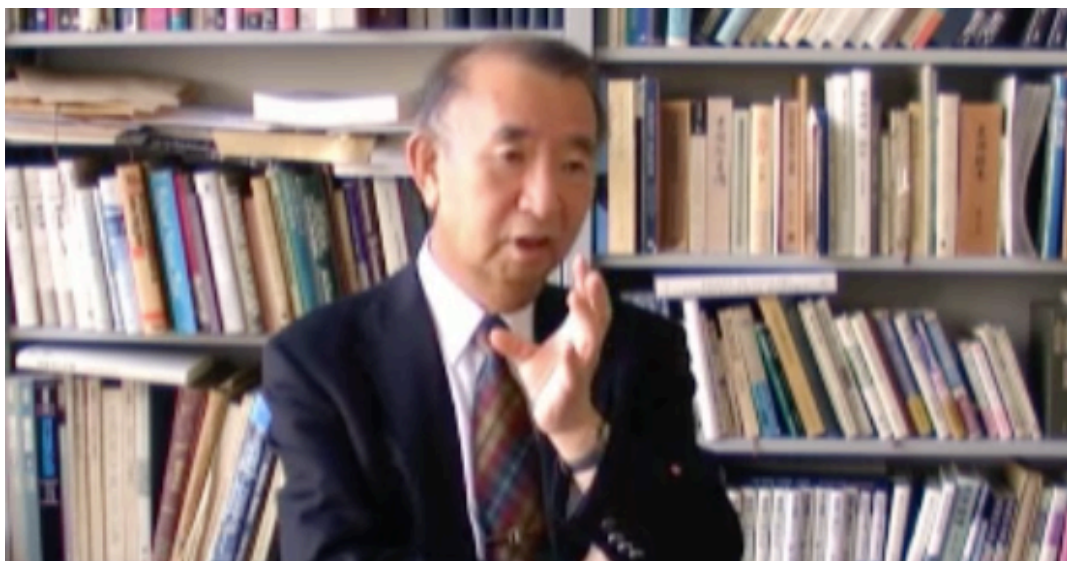
1.4 収録主旨

「アーカイブの活動とはどのようなものか」「今、何が行われているか」「どこにむかっているか、目的としているか」撮影対象者よりこれまでの様々なアーカイブ活動ではどのようなものが収録されどのようにすすめられてきたのか。そのきっかけと活動の中に含む思いとはなにか。何故アーカイブ＝データ・資料保全が必要なのか。これまで続けてきたアーカイブ活動や新しく生まれたアーカイブ活動、その紹介とそこに関わる方々の生の声を収録する。

1.5 成果:インタビュー対象者[所属アーカイブ団体]その内容

1.5.1 鈴木 博之氏[文化庁 国立近現代建築資料館(運営委員長)、建築・空間デジタルアーカイブス (理事長)]

※DAAS の活動及び専門の近代建築史について、資料保全への思いについて収録



1.5.2 藤岡洋保氏[一般社団法人 日本建築学会 建築博物館(委員会幹事・資料担当)]

※これまでの資料収集・整理の経験と日本建築学会 建築博物館の資料保全について。空間の「概念」と「デザインの関係」、建築史を学ぶ事についての考えを伺った。



1.5.3 渡邊英徳氏[首都大学東京システムデザイン学部(ヒロシマ・アーカイブ、ナガサキ・アーカイブ、東日本大震災アーカイブ等 アーカイブシリーズ制作)]

※Google earth を利用したデジタルアーカイブ制作における思いを伺った。



1.5.4 北郷悟氏「総合芸術アーカイブセンター長・東京藝術大学彫刻科教授」

※作家の視点からのアーカイブへの思い、データの利活用の実施例、2020 年東京オリンピックに向けた上野「文化の杜」新構想推進会議等について伺った



2 VR(バーチャルリアリティー)を使った空間画像データの制作

2.1 コンテンツ内容

ハイビジョンによるまちなみ、及び建築物の撮影。収録したデータを合成し WEB サイト上で、移動、回転、視点転換等の操作が可能である。画像と併せ音声再生機能を付加。DAAS-Web サイトにて公開する。(無料会員登録により閲覧可能)。

2.2 収録方法

撮影は、建築家でありこれまで伝統的建物の改修工事にかかる記録等で VR データの撮影・制作及び編集を行って来た、一級建築士事務所ワカ設計室 君塚和香氏に協力を依頼。

2.3 収録主旨

VR データ収録には、ある地点からの周辺一帯の画像の撮影が必要となる為、本 VR データを閲覧、再生、操作することにより、建物や町並みの空間把握のできるコンテンツとなる上、この詳細な画像情報を使い将来的に、撮影箇所(地点)にたち、モバイルツール等を使い再現することで、その時点での状況と比較することが出来るコンテンツに再構成することも可能である。

2.4 成果

2.4.1 国立屋内総合競技場(代々木体育館)周辺風景(DAAS 掲載時名称:国立屋内総合競技場;資料番号 0028563)

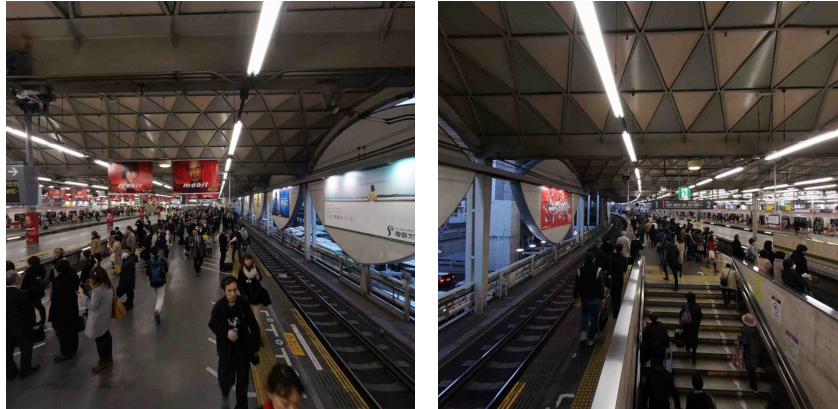
1965 年旧社団法人建築業協会(現 一般社団法人日本建設業連合会)BCS 賞を受賞した建築家丹下健三の代表作。東京オリンピック開催に向けて建設された構造的にも意匠的にも評価の高い建築物であり、DAAS でもすでに写真資料の収録がされている建物である。DAAS では竣工時の写真を収録しているが、その追加資料として、現在の周辺建築物との調和、まちなみとの調和を体験する VR データを収録し、建物とまちなみの関係を意識することができるコンテンツを実現。また渋谷というまちなみということもあり、今後周囲の変化や、本建物の改修等も考えられる場所である。



2.4.2 旧 東急東横線渋谷駅

(既に取り壊し済みの駅舎の写真の合成作業及び Web コンテンツへの再編集)
2013 年、東急東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転により、旧 東急東横線渋谷駅舎は取り壊され、東横線渋谷駅は地下施設へとかわった。また今後 2026 年までには渋谷周辺の再開発工事が予定されており、渋谷駅周辺のまちなみは大

大きく変化する。2013 年 3 月に撮影していた画像を再編集し VR データとした



2.4.3 明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前風景

2020 年東京オリンピック開催のため、新国立競技場の建設が予定されており、その景観が大きく変化すると考えられている神宮外苑の様子を撮影し、VR データに編集。競技場の建設後は人の流れ、車の流れ等周囲の状況も大きく変化する予想される為、音声データも収録。



3 Web サイト機能改修概要

3.1 改修内容

収集した資料の DAAS-Web サイト(<https://www.daas.jp>)での公開の為の作業とその公開に向けた環境の整備(サーバハードウェアの変更、サーバの最新環境への移行作業)及び、コンテンツ掲載の為の機能追加を行う。機能の改善においては、これまで設立当初より DAAS-Web サイトの構築を行ってきた株式会社ブロードワークスに制作を依頼。多発サーバー異常停止の解決とサーバーの安定稼働を実現させることも目的とする。

運営基盤の安定化方策検討 報告書(案)

2014年9月

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)
DAAS 運営委員会／DAAS 運営基盤の安定化方策検討 WG

別添 2-1

目 次

0 はじめに	3
DAAS 運営基盤の安定化検討 WG 構成	4
1 「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」検討内容と経過	5
1-1 日程および工程表(案)	5
1-2 検討経緯	5
2 DAAS の現状把握	7
2-1 設立から現在までの収支状況概要	7
2-2 DAAS の基礎的活動に要する経費の精査と明確化	9
2-3 対外的に説明可能な DAAS メリットの明確化 (DAAS 資料の価値についての整理) …	11
3 法人格種類と特徴等について	12
3-1 各種法人格(NPO 法人、一般社団法人等)の特徴等に関する整理	12
3-2 DAAS が目指すべき法人格の検討	13
4 統合・連携等の可能性がある他機関情報	15
4-1 今までに意見交換を実施してきた各機関(リストアップ)	15
5 DAAS 組織モデルの検討	17
5-1 検討可能な組織モデルの種類とその理由	17
5-2 今後 DAAS が目指すもの	19
5-3 DAAS 法人化の際に検討・調整が必要な契約、手続き等について	23
6 DAAS の運営基盤安定化策まとめ	30

0 はじめに

[経緯]

建築空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(以下「DAAS」)は、DAAS 設立趣意書に賛同いただいた法人・個人会員の皆様(以下、「会員」という)の支援を受けて運営しており、平成 18 年の設立より平成 26 年 10 月で設立 8 年目となった。会員会費収入を活動費として、平成 17 年度国家予算で構築したデジタルアーカイブスプラットフォーム「DAAS-WEB(WEB サイト、各種コンテンツ、データベース、プログラムにより構成される閲覧・情報発信システム。以下同じ。)」の維持・運営、「コンテンツ拡充」等、デジタルアーカイブスとしての基本活動を粘り強く継続してきた結果、着実にその成果を上げてきた。

[経営環境の変化]

この間、会員企業・団体の組織的支援(総務機能等)、国の補助事業による支援があったものの、会員数減少による会費収入の減少、組織的支援の終了、活用可能な補助金予算の縮小や消失など、DAAS 経営環境は大きく変化していった。これに対応するため、DAAS として様々な経費削減策(事務局移転、サーバ維持経費削減など)を講じてきたが、その結果、DAAS の運営、総務的機能、諸活動の全てを常勤事務局1名のみでまかなっているという大変厳しい状況にある。

[法人化問題]

また、アーカイブス活動では、「著作権等との権利関係処理(著作者との利用等許諾契約等)」を適切に行うことが肝要である。また、コンテンツのデジタル化、WEB 開発・システム維持等に関しても、第三者との契約が多く発生する。これら契約行為では「DAAS が法人格を持たないこと」が問題となることが多く、これまでも契約締結のために様々な苦労を伴ってきた。これに対する今後の抜本的解決方法は「法人格を持つこと」であるが、法人格を得るには「法人として責任を負うための組織基盤の健全化・安定化」が必須である。

[検討課題]

つまり、デジタルアーカイブス活動を継続してゆくためには、今後「活動基盤の健全化・安定化」を最優先課題とし、かつ、「法人格を得ること」を視野に入れた検討が必要と認識しており、過去の運営委員会、事務局会議の場において同様の議論を重ねてきているが、その解決には至っていない。また、一定の成果を得るためには議論に先立つ様々な検討も必要となることから、事務局のほか、会員を中心として DAAS に関係する方々からの支援が不可欠である。

[WG の設置及び検討]

これらを踏まえ、DAAS 第 8 期(2013-2014 年)事業計画に基づき、運営委員会のもとに「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」を設置のうえ、「運営基盤の安定化」をテーマに、法人格取得も視野に入れた対応方策に関して集中討議を行い、成果をとりまとめることとなった。

[成果の取扱い等]

本報告書は、WG 検討成果をとりまとめ、運営委員会の審議を経たものである。とりまとめにあたり、DAAS 運営基盤安定化方策(提案)に応じた、関係機関等との具体的統合・連携へ向けた必要タスク、想定課題等も提示している。今後、ケースに応じた具体の行動計画を立てる際に、本成果が役立つことを期待するものである。

DAAS 運営委員会 委員長 三塩 達也
DAAS 運営基盤の安定化方策検討 WG 主査 竺 覚暁
別添 2-3

DAAS 運営基盤の安定化検討 WG 構成

主 査	竺 覚暁	一般社団法人日本建築学会 (金沢工業大学教授・同大学ライブラリーセンター館長・ 建築アーカイヴス研究所長)
幹 事	三塩 達也	株式会社日本設計執行役員 第2 建築設計群長
委 員	鰺坂 徹	公益社団法人日本建築家協会 (鹿児島大学大学院理工学研究科建築学専攻教授)
〃	鈴木 長則	公益社団法人日本建築士会連合会 (東京建築士会 世田谷支部長)
〃	今倉 章好	一般社団法人日本建設業連合会
〃	中田 千彦	公立大学法人宮城大学事業構想学部准教授
協力委員	原田 佳道	国土交通省住宅局建築指導課企画専門官
〃	高見 真二	内閣官房地域活性化統合事務局 企画官
〃	山名 善之	東京理科大学工学部建築学科准教授
事務局	山崎 幹泰	金沢工業大学 環境・建築学部建築系准教授
	武藤 奈津子	建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム

(委員、協力委員については順不同、敬称略)

1 「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」検討内容と経過

「運営基盤の安定化」と DAAS の法人格取得も視野に入れた対応策の集中討議を首件 WG に於いて実施。運営委員会からの意見を WG へ反映し、最終成果は運営委員会での承認を得て取りまとめた。WG の検討内容と経過は以下のとおり。

1-1 日程および工程表(案)

・日程:WG 設置より平成 26 年 9 月 31 日まで

・工程表:下表のとおり(WG 開催回数は4回)

調査検討項目	2013-2014 年度			
	1～3 月	4～6 月	7～9 月	
1. DAAS 運営現状の把握と検証 ①収支状況の整理 ②基礎的活動コストの精査 ③DAAS メリットの明確化				
2. 法人格に係る調査 ①各種法人格の特徴整理 ②DAAS が目指すべき法人格				
3. 統合・連携等の可能性がある他機関情報の整理 ①各機関リストアップ ②各機関の情報・特徴				
4. DAAS 経営・組織モデルの検討 ①検討対象組織モデル種類と理由				
5. DAAS の運営基盤安定化策まとめ				
WG 開催	○	○	○ ○	○ (followup)
運営委員会開催	●		● ●	

1-2 検討経緯

2013 年 7 月 30 日: 国土交通省にて DAAS の今後について打合せ。WG 設置を提案

(第 8 期事業計画に含める旨の検討)

2013 年 10 月 9 日: 第 8 期事業計画検討と、WG 設置に関する打合せ(事務局内)

2013 年 10 月 24 日: DAAS 第 8 期総会の開催(事業計画の承認)

2013 年 12 月 26 日: WG 開催へ向け、WG 構成・スケジュール等の検討を目的とし、準備会開催

2014 年 1 月 24 日: DAAS 第 26 回運営委員会にて WG の企画書及び構成案の提案と承認

2014 年 2 月 20 日: 第 1 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

2014 年 4 月 23 日: 第 2 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

(2014 年 3 月): 国土交通省より(公財)建築技術教育普及センターによる事務局支援の連絡

2014 年 5 月 21 日及び2014 年 7 月 4 日:

国土交通省 原田企画専門官と今後の DAAS に関する打合せ

2014 年 8 月 28 日: 第 3 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

2014 年 8 月 28 日: DAAS 第 27 回運営委員会にて経過報告

2014 年 9 月 30 日: 第 4 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

2014 年 9 月 30 日: DAAS 第 28 回運営委員会にて報告

2 DAAS の運営基盤安定化策まとめ

- ・平成 17 年度国費成果物を基本とし、これの利活用による公益的活動をするのが DAAS である。
- ・収入面では、会員数減少、補助金等外部資金の利活用可能性が年度単位で常に不安定であり、事務局組織の人材不足が明らかである現状を鑑みると、DAAS の公益的活動を継続してゆくためには、運営基盤安定化は必須である。
- ・運営基盤安定化にあたっては、支援形態の如何にかかわらず、支援組織の存在が必要との認識である。
- ・支援組織からは、人材・予算面等での支援を希望したいが、支援形態としては、「DAAS という組織を存続したまま(連携)」、「DAAS を吸収合併(統合)」ということも視野に入れ、今後検討が必要である。
- ・加えて、建築関連資料の収集、デジタル化、WEB 等による公開というアーカイブス活動の安定継続には、法人として契約等が行えるよう、DAAS が法人格を得ることも必須と考えられる。
- ・法人化にあたっては、DAAS 規約上の資産譲渡先制約があることから、「公的機関」と整理可能な法人格を得る必要があり、その選択肢として「一般財団法人」、「一般社団法人」があげられる。
- ・なお、平成17年度国費成果活用の観点から、DAAS の支援の得かた、支援機関との関係、法人化検討等、様々な面で国土交通省の意向確認が必要である。
- ・今後の DAAS 組織や活動のあり方については、DAAS 会員企業・団体が参加し、別途複数年にわたるロードマップや中長期計画を作成する等、計画的でより具体的な行動が望まれる。

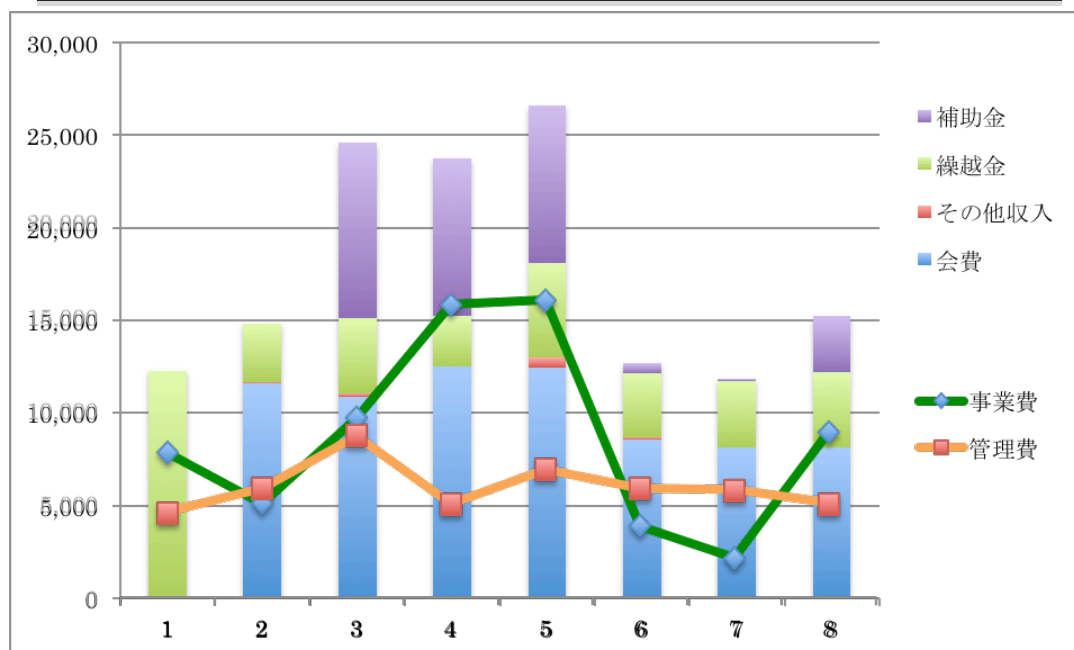
1 DAAS の現状把握

1-1 設立から現在までの収支状況概要

(1) DAAS 会員数と収入経緯と現状(事業報告・決算報告より※第8期のみ予算案より)

期	収支決算額(単位：千円)		会員数 (理事/監事)		
	全体執行額 (会費/補助金)	備考	団体	企業	個人+ 学術
	[事業費/管理費]				
第 1 期 (2006～2007)	12,300 (12,300 / 0) [7,700 / 4,500]	準備金	-	-	-
第 2 期 (2007～2008)	14,838 (11,610 / 0) [4,999 / 5,766]	繰越 3,151	6(6)	22(10)	7(7)
第 3 期 (2008～2009)	20,536 (10,890/9,500) [9,561/8,601]	前期繰越 4,073 修繕積立 3,700	6(6)	24(7)	7(7)
第 4 期 (2009～2010)	21,002 (12,490/8,500) [15,579 / 4,951]	前期繰越 2,746 修繕積立 1,800	6(6)	22(5)	7(7)
第 5 期 (2010～2011)	21,515 (12,450/8,500) [15,835 / 6,786]	前期繰越 5,103 修繕積立 1,800	9(6)	22(4)	8(8)
第 6 期 (2011～2012)	9,215 (8,570 / 500) [3,795 / 5,795]	前期繰越 3,470	10(7)	22(4)	8(8)
第 7 期 (2012～2013)	8,282 (8,150 / 0) [2,077 / 5,694]	前期繰越 3,574	10(7)	21(4)	8(7)
第 8 期 (2013～2014)	11,120 (8,150 / 3,000) [8,800/ 4,980]	前期繰越 4,084	10(7)	21(4) →▲9	8(7)

【※2012 年までの退会企業会員 4 社、退会希望・会費滞納併せて現在 9 社】



別添 2-7

[収入について]

- ・会費収入は第4期をピークに、それ以降の企業会員減少に応じて減収傾向にある
- ・第3期から第5期にかけ、UIA2011への成果としてコンテンツ増強を目的とした補助金事業関連収入があったが、以降減少傾向にある
- ・繰越金は、毎年度、年度平均で400万円程度計上している

[支出について]

- ・事業費は、UIA2011へ向けた活動として第5期まで増加の傾向にあるが、第6期以降減少している。なお、第8期は一時的に増加しているが、これはDAAS-WEBサーバのリプレース、セキュリティ向上のためのサーバ環境更新作業によるものである
- ・管理費は、人件費、DAAS-WEBの運営に伴う支出が500万円程度であり、第3期から第5期は補助金事業実施のための臨時雇用費による一時的増加である。なお、第6期以降は、管理費削減へ向けた事務所移転等の努力を継続してきた

(2)これまでの事務局体制【事務局場所(支援体制)】

- ・2006年12月～2008年10月 【株式会社新建築社内(総務支援・職員雇用)】
 - 非常勤9名(委員長含) 常勤1名
- ・2008年10月～2009年6月 【NPO住宅・建築・都市政策支援集団(支援なし)】
 - 非常勤6名(委員長含)・常勤1名(職員の雇用・管理はベターリビングに委託)
- ・2009年6月～2010年6月 【(財)ベターリビング(総務支援・職員雇用等)】
 - 非常勤6名 非常勤1名(職員の雇用・管理はベターリビングに委託)
 - 補助金事業用臨時雇用:アルバイト3名 派遣社員1名 契約社員1名
- ・2010年6月～2011年9月 【シェアオフィス移転(雇用はベターリビング)】
 - 非常勤5名 常勤1名(職員の雇用・管理はベターリビングに委託)
 - 補助金事業用臨時雇用者:アルバイト2名 派遣社員1名
- ・2011年10月～2012年9月 【都中小企業振興公社運営オフィスへ移転(都による運営支援等)】
 - 非常勤4名 常勤1名(職員の雇用・管理はベターリビングに委託)
 - 補助金事業用臨時雇用者:派遣社員1名
- ・2012年10月～ 【都中小企業振興公社運営オフィスへ移転(都による運営支援等)】
 - 非常勤2名 常勤1名(職員の雇用・管理はDAASにて行う)
- ・2014年10月～ 【公益財団法人建築技術教育普及センターへ移転(総務支援等を受ける)】
 - 非常勤2名 常勤1名(職員の雇用・管理は普及センターで行う)

(参考)

非常勤:

会員企業・団体に属する個人(DAAS設立準備から運営まで、積極的に関与)
当初9名から減じており、現在2名を残す

補助金事業用臨時雇用:

2011年UIA世界大会へ向けたコンテンツ増強のため、国の補助金関連事業を実施した年度に、必要に応じ増員

常勤:

DAAS運営・活動のための専属職員
雇用形態は支援体制により変化。設立当初より1名体制のまま変化なし

第8期(2013-2014年)収支計算書(案)

2013年10月1日から2014年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(a-b)
I 事業活動収支の部			
事業活動収入			
1 会費・入会金収入	8,150,000	8,270,000	△ 120,000
企業会員	6,120,000	6,240,000	△ 120,000
団体会員	2,000,000	2,000,000	0
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2 事業収入	3,050,000	3,057,500	△ 7,500
Webコンテンツ作成事業※	3,000,000	3,000,000	0
コンテンツ有償利用料	50,000	57,500	△ 7,500
3 その他収入	0	34	△ 34
受取利息	0	34	△ 34
雑収入	0	0	0
事業活動収入 計	11,200,000	11,327,534	△ 127,534
事業活動支出			
1 事業費支出	8,800,000	4,609,939	4,190,061
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	16,839	1,483,161
イベント事業支出	1,000,000	0	1,000,000
コンテンツ整備事業支出	2,000,000	723,872	1,276,128
サーバ管理委託費	1,000,000	869,228	130,772
Webコンテンツ作成事業※	3,000,000	0	3,000,000
Webコンテンツ作成事業/Web改修費用	0	630,740	△ 630,740
Webコンテンツ作成事業/VR制作費用	0	630,420	△ 630,420
Webコンテンツ作成事業/オーラルアーカイブ制作	0	1,655,826	△ 1,655,826
Webコンテンツ作成事業/その他経費	0	83,014	△ 83,014
保守費支出	300,000	0	300,000
2 管理費支出	5,640,000	6,154,768	△ 514,768
事務所経費	400,000	545,299	△ 145,299
人件費	3,360,000	3,360,000	0
法定福利費	500,000	545,830	△ 45,830
旅費交通費支出	350,000	251,273	98,727
機材費支出	150,000	84,044	65,956
通信運搬費支出	200,000	388,064	△ 188,064
渉外費支出	50,000	2,877	47,123
会議費(含総会)支出	150,000	584,819	△ 434,819
租税公課支出	80,000	0	80,000
会計士外部委託費支出	300,000	302,400	△ 2,400
雑費支出	100,000	90,162	9,838
事業活動支出 計	14,440,000	10,764,707	3,675,293
事業活動収支差額	△ 3,240,000	562,827	△ 3,802,827
II 投資活動収支の部			
投資活動収入			
修繕引当預金取崩収入	0	0	0
その他固定資産取得収入	0	0	0
投資活動収入 計	0	0	0
投資活動支出			
修繕引当預金取得支出	0	0	0
その他固定資産取得支出	0	30,000	△ 30,000
投資活動支出 計	0	30,000	△ 30,000
投資活動収支差額	0	△ 30,000	30,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出	844,909	0	844,909
当期収支差額	△ 4,084,909	532,827	△ 4,617,736
前期繰越収支差額	4,084,909	4,084,909	0
次期繰越収支差額	0	4,617,736	△ 4,617,736

※一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構が実施した、住宅・建築物による景観形成に資する活動の推進及び評価方法等の技術基盤の整備に関する事業のうち、DAASは優れた住宅・建築物のデジタルアーカイブスのWEBコンテンツ作成支援業務を受託

監 査 報 告 書

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第 15 条第 4 項の規定に基づき、建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアムの第 8 期(2013-2014 年度 2013 年 10 月 1 日から 2014 年 9 月 30 日まで)の業務報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った結果、正確かつ適正であることを認めます

年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長

樋口 武男 印

年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

一般財団法人 日本建築センター 理事長

松野 仁 印

議案2 第9期(2014-2015年)事業計画(案)
及び収支予算(案)について

資料4 第9期(2014-2015年)事業計画(案)

資料5 第9期(2014-2015年)収支予算(案)

第 9 期(2014-2015 年)事業計画(案)

1. 基本方針

DAAS の基本活動である「Web サイト等基本システムの維持・保全」、「収蔵データの維持・保全」を通じて、公益的活動を継続する。

また、第 8 期に一定のとりまとめを得た「運営基盤の安定化」に関する検討を継続するほか、事業計画に基づく事業推進と、事務局機能改善をも目的とし、運営委員会のもとに「企画運営部会(仮称)」を設置する。

なお、第 8 期からの継続事業については、第 9 期での実施を目指す。

2. 事業計画

(1) WEB サイト等基本システムの維持・保全

第 8 期において、サーバ環境を最新状態に更新することを通じ、サーバ攻撃に対するセキュリティ対策を実施した。

今期より、それまでと同様に、サーバ OS、周辺アプリケーションのセキュリティ対策プログラムを定期的に適用する等、サーバ保守業者とともに、引き続きサーバ環境のセキュリティ対策を継続する。

(2) 収蔵データの維持・保全

Web サイト公開用画像データとは別に維持・保全している「高精細画像データ」について、データ破損、消失を防ぐ目的で、事務局内保管分(RAID 環境による冗長性担保)のほか、外部のデータ保管専門業者のサービスを利用し、さらなる冗長性を確保している。

事務局内保管分については、RAID 環境の診断等管理によりデータ維持・保全するとともに、新規収蔵コンテンツがあった場合には、同様の維持・保全措置を講ずる。

(3) 運営基盤の安定化に資する検討体制確立と継続検討

第8期、運営委員会のもとに設置した「運営基盤の安定化方策検討 WG」の名称を「企画運営部会(仮称)」へ変更し、運営委員会と連携しつつ、今後の DAAS 活動に資する検討や、一層の運営基盤安定化検討へ向けた検討のための体制を確立する。

①運営基盤の安定化方策検討(継続)

②事業計画に基づく事業実施や企画検討

③その他、運営委員会承認事項の事前検討 等

なお、「企画運営部会(仮称)」の構成は、第 8 期「運営基盤の安定化方策検討 WG」とするが、運営委員会の承認を経て、変更・追加できるものとする。

(4) コンテンツの整備

動画収録、デジタルデータ作成

第8期同様、コンテンツ作成支援金(国庫補助金)を活用し、コンテンツを整備する。
対象コンテンツは「企画運営部会(仮称)」において検討するものとし、予算、納期等を考慮しつつ、実施可能なものから具体作業に着手する。

[対象コンテンツ例]

- ・団体等受賞作品の収蔵
- ・動画収録(DAAS 収蔵作品の建築家、アーカイブス運営者等)
- ・VR(ヴァーチャルリアリティ)を利用した空間画像データ
- ・東日本大震災以来休止していたデジタル卒業設計大賞の実施

(5) Web サイトの改善

新規コンテンツ収蔵に必要な機能追加、検索機能の改善のための機能追加を実施。

(6) その他

①オープンアライアンス活動

これまでのオープンアライアンス実現へ向けた様々な関係者と意見交換を継続し、他のアーカイブや資料保有者、活動の協力と連携を広く呼びかける。

②その他 DAAS の目的に資する活動を実施する。

第9期(2014-2015年) 収支予算(案)

2014年10月1日から 2015年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	※参考:第7期予算額との差額
I. 事業活動収支の部		
事業活動収入		
1. 会費・入会金収入	7,260,000	▲ 890,000
企業会員	5,230,000	△ 890,000
団体会員	2,000,000	0
学術・教育機関会員	30,000	0
個人会員	0	0
2. 事業収入	3,050,000	0
Webコンテンツ作成事業	3,000,000	0
コンテンツ有償利用料	50,000	0
3. その他収入	0	0
受取利息	0	0
雑収入	0	0
事業活動収入計	10,310,000	▲ 890,000
事業活動支出		
1. 事業費支出	4,625,000	▲ 1,175,000
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	0
イベント事業支出	0	▲ 1,000,000
コンテンツ整備事業支出	53,000	▲ 1,947,000
サーバ管理委託費	72,000	▲ 928,000
Webコンテンツ作成事業	3,000,000	0
保守費支出	0	-300,000
2. 管理費支出	5,443,000	△ 167,000
事務所経費	20,500	▲ 379,500
人件費	3,360,000	0
法定福利費	680,000	180,000
旅費交通費支出	235,000	△ 115,000
機材費支出	150,000	0
通信運搬費支出	260,000	60,000
渉外費支出	0	△ 50,000
会議費(含総会)支出	467,500	317,500
租税公課支出	80,000	0
会計士外部委託費支出	160,000	△ 140,000
雑費支出	30,000	-70,000
事業活動支出計	10,068,000	▲ 1,342,000
事業活動収支差額	242,000	3,002,000
II. 投資活動収支の部		
投資活動収入		
修繕引当預金取崩収入		0
その他固定資産取得収入		0
投資活動収入計	0	0
投資活動支出		
修繕引当預金取得支出		0
その他固定資産取得支出		0
投資活動支出計	0	0
投資活動収支差額	0	0
III. 財務活動収支の部		
財務活動収支差額		
	0	0
IV. 予備費支出		
予備費支出	4,859,736	4,045,313
当期収支差額	▲ 4,617,736	▲ 1,043,313
前期繰越収支差額	4,617,736	1,043,313
次期繰越収支差額	0	0

注)この予算書は消費税込みで計算しております

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第9期・第10期 理事・監事名簿(案)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
第9期・第10期 理事・監事名簿 (案)

(順不同 敬称略)

2014年10月15日現在 国土交通省
との調整中のため、本書類は仮の名
簿となります。

■理 事

芦原 太郎 (公益社団法人 日本建築家協会 会長)
浅野 宏 (公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
吉野 博 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
大内 達史 (一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
山内 隆司 (一般社団法人 日本建設業連合会 副会長)
隈 研吾 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 取締役会長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
秋山 一美 (大和ハウス工業株式会社 執行役員 技術本部住宅設計推進部長)

■監 事

樋口 武男 (一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
松野 仁 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)

議案4 会費規程変更の件

資料7 会費等規程(案)

議案4 会費等規程の変更について

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 会費等規程(以下、「会費等規程」という)を改訂し、企業会員の1口あたりの額を以下のとおり変更する。

会費等規程 改訂案抜粋(網がけ、下線部を改訂)

旧	
(会費等及び入会金の額)	
第1条 会費等の額は、次のとおりとする。	
(1)企業会員の年会費等は次の表に掲げる従業員数の区分に応じ、それぞれ同表に定める1口あたりの額を1口以上とする。ただし、役員に選任された企業会員は2口以上とする。	
従業員数	1口あたりの額
51人以上	36万円
11～50人	12万円
10人以下	6万円
新	
(会費等及び入会金の額)	
第1条 会費等の額は、次のとおりとする。	
(1)企業会員の年会費等は次の表に掲げる従業員数の区分に応じ、それぞれ同表に定める1口あたりの額を1口以上とする。ただし、役員に選任された企業会員は2口以上とする。	
従業員数	1口あたりの額
51人以上	<u>32万円</u>
11～50人	<u>11万円</u>
10人以下	6万円

会費等の額、変更理由等：

- ・第9期の公益財団法人 建築技術教育普及センター内の事務局移転、及び事務所経費等軽減が可能となったこと
- ・運営委員会、運営基盤安定化検討WGにおいて収支シミュレーションを実施。結果、単年度内収支が黒字の範囲において、企業会費について会費減額が可能と判断

制定 平成 18 年 12 月 4 日

改訂 平成 20 年 10 月 31 日(い)

改訂 平成 26 年 10 月 日(ろ)

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 会費等規程(案)

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約(以下「規約」という) 第 8 条の規定に基づき、会員から徴収する会費等及び入会金について規定する。

(会費等及び入会金の額)

第 1 条 会費等の額は、次のとおりとする。

- (1)企業会員の年会費等は次の表に掲げる従業員数の区分に応じ、それぞれ同表に定める 1 口あたりの額を 1 口以上とする。ただし、役員に選任された企業会員は 2 口以上とする。(ろ)

従業員数	1 口あたりの額
51 人以上	32 万円
11～50 人	11 万円
10 人以下	6 万円

- (2)団体会員の年会費等は 20 万円を 1 口とし、1 口以上とする。

- (3)学術・教育機関会員の年会費等は 3 万円を 1 口とし、1 口以上とする。

- (4)個人会員の年会費等は 2 万円を 1 口とし、1 口以上とする。

- (5)特別会員の年会費等は無料とする。

2 入会金の額は無料とする。

- 3 第1項の会費に相当する無償の役務提供を申し出る者に対して、その提供される内容が妥当であると運営委員会で認められた場合に限り、当該役務提供によって会費を納入したものとみなす。

(い)

(会費等及び入会金の納入等)

第 3 条 会費等は規約第 42 条に規定する事業年度に応じて年会費等を一括前納するものとする。

ただし、会員等が期の半ばに入会した場合の年会費等については、これを月割り換算し、入会月を含む残存月数分とする。

2 前項の月割り換算の方法は、十円単位以下を切り捨てるものとする。

3 会費等及び入会金は、事務局からの請求書等通知が届いてから、一ヶ月以内に納入するものとする。

(規則の変更)

第4条 当規程の改変は理事会の議決を経て行う。

附則

1. この規程は、本会設立総会のあった日から施行する。

2. 建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム設立準備会の設立準備費等を支出済みの会員は、入会金及び設立当初年度分の年会費等を納入したものとみなす。

附則（い）

1. この改正は、平成 20 年 10 月 31 日から施行する。

附則（ろ）

1. この改正は、平成 26 年 10 月 日から施行する。

報 告

資料8 会員名簿変更について

資料9 規約第7条第4項に基づく指定代表者の
変更について

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
会員名簿

(順不同 敬称略)

榎 文彦 (建築家)
隈 研吾 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
池原 義郎 (建築家)
吉野 博 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
大内 達史 (一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
芦原 太郎 (公益社団法人 日本建築家協会 会長)
山内 隆司 (一般社団法人 日本建設業連合会 副会長)
樋口 武男 (一般社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
松野 仁 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)
那珂 正 (一般財団法人 ベターリビング 理事長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
清水 琢三 (五洋建設株式会社 代表取締役社長)
山口 俊男 (株式会社 奥村組 取締役専務執行役員)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 取締役会長)
成川 哲夫 (新日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長)
永尾 眞 (前田建設工業株式会社 取締役専務執行役員 建築事業本部長)
日置 滋 (清水建設株式会社 専務執行役員)
平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役専務執行役員)
河野 晴彦 (大成建設株式会社 執行役員 設計本部長)
車戸 城二 (株式会社 竹中工務店 執行役員 設計本部長)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 本社 設計本部長)
尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 専務執行役員 建築設計本部長)
副島 伸一 (住友不動産株式会社 港ビル事業所長 執行役員)
合場 直人 (三菱地所株式会社 常務執行役員)
田中 孝典 (株式会社 山下設計 代表取締役社長)
大江 功一 (三井不動産株式会社 建設企画部長)
碓氷 辰男 (東京建物株式会社 常務取締役)
村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授)
西生 一次 (株式会社 日建学院 代表取締役社長)
秋山 一美 (大和ハウス工業株式会社 執行役員 技術本部住宅系設計推進部長)
金箱 温春 (一般社団法人 日本建築構造技術者協会 会長)
浅野 宏 (公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
田辺 新一 (一般社団法人 建築設備技術者協会 会長)

2014 年 9 月改訂

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム（DAAS）

法人会員指定代表者変更

（建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム規約 第7条第4項 関係）

（敬称略）

■ 団体会員

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会

〈変更前〉 三栖 邦博 （会長）

〈変更後〉 大内 達史 （会長）

一般社団法人建築設備技術者協会

〈変更前〉 川瀬 貴晴 （会長）

〈変更後〉 田辺 新一 （会長）

■ 企業会員

清水建設株式会社

〈変更前〉 日置 滋 （常務執行役員）

〈変更後〉 日置 滋 （専務執行役員）

五洋建設株式会社

〈変更前〉 村重 芳雄 （取締役社長）

〈変更後〉 清水 琢三 （代表取締役社長）

2014 年 10 月 1 日付